

# OPERATION BLESSING

令和6年度 事業報告書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

特定非営利活動法人オペレーション・ブレッシング・ジャパン

東日本大震災から丸14年を迎え、東北のみならず、日本全国に活動の範囲を広げ、新たな国内災害にも対応しつつ、コミュニティ復興支援、心のケア、フードバンクなどをおおしての困窮者支援、子どもの支援を展開しています。また海外における紛争や災害支援の取り組みを行いました。

## 1. 事業の成果

### 緊急災害支援事業

#### 国内

#### 【南相馬コミュニティ復興事業】

引き続き、被災地である福島県南相馬市を中心にした復興支援活動をおこないました。南相馬市のジャスモール・ショッピングセンターにおける復興コミュニティスペース（ブレッシングルーム）は100坪のテナントスペースで、放課後児童プログラム、コミュニティサポート事業、コンサート、懇親会などを昨年度から継続、多くの成果を残し、地元の憩いのスペースとして定着しています。

#### 放課後児童プログラム「ブレッシングクラブ」

月曜日～金曜日の放課後預かりの児童クラブ「ブレッシングクラブ」を運営。登録の児童を団体のバスで学校に向かいに行き、夕方に保護者が迎えにくる仕組みとなっています。

7月には恒例のキャンプを開催、また夏休みと春休みには、児童を朝から夕方まで預かるプログラムを実施して、子どもたちの健全な育成に貢献しました。

#### 家族向け特別イベント

ブレッシングルームでミニコンサート、様々なコミュニティ交流を目的としたイベントを行いました。12月には恒例のクリスマスイベントを開催し、また地元の団体などにオープンスペースとして会場を解放することもあり、街の心の復興のために貢献しました。

#### ゴスペル教室「ライズアップゴスペルクワイヤ」

復興事業の一環として、新しい希望に満ちた歌声を地元から発するために結成されたゴスペルクワイヤ「ライズ・アップ」の活動を、スタッフおよび外部講師の指導により、月2回のレッス

ンを継続しました。今年度の公演は、11月の仙台ゴスペルフェスティバルと、12月のクリスマスイベントの2回となりました。

## **子ども食堂**

南相馬市社会福祉協議会と他6つの福祉団体と協力し、南相馬復興コミュニティスペースとカフェで始めた、月2回の子ども食堂を通して、地元のコミュニティの会話の場として役立てています。コロナの影響以来、食事をお弁当形式で配ることになりました。

### **【令和3年7月熱海市伊豆山土石流災害支援】**

令和3年7月3日に、静岡県熱海市伊豆山地区の逢初川で発生した大規模な土砂災害は、多くの被害と避難者をもたらしました。今年度も昨年度に引き続き、派遣スタッフによる月2回の子どものプログラムと高齢者のコミュニティ復興プログラムを実施しました。

### **【令和6年 能登半島地震支援】**

令和6年元日に発生した石川県能登地方を震源とするM7.6、震度7の地震と津波により、大きな被害がもたらされました。昨年度に引き続き、金沢市近郊にある内灘を拠点に、パートナー団体との連携により、様々な支援物資を避難所、福祉施設、自主避難所などに届けました。また、炊き出し、仮設住宅のイベントなど、心のケア事業も展開、能登半島の被災者の復興のために大きく貢献しました。

## **海外**

### **【ウクライナ戦争による被害者支援事業】**

2022年2月末に始まったロシア軍によるウクライナ侵攻は、終わる気配もなく、避難できなかった多くの脆弱世帯が取り残され、厳しい冬を越す必要があります。ジャパン・プラットフォームの助成金により、ウクライナの現地パートナーであるEmmanuel Charity Associationと連携して、ウクライナ東部の脆弱世帯のために暖炉で燃やせる薪を提供し、冬を乗り切るための支援に大きく貢献しました。

### **【イスラエル、ガザ地区紛争支援事業】**

2023年10月7日、ハマスのテロリストがガザ地区に隣接する地域に住むユダヤ人に対して、ホロコースト以来最も凶悪な攻撃を行い、イスラエルが戦争に巻き込まれました。ガザ地区とレバノン国境付近に住む多くのイスラエル人が、エルサレム等への避難を余儀なくされました。オペレーション・ブレッシングの国際チームは、提携先のCBNイスラエルを通じて、難民に避難所と実践的な支援を提供しました。私たちは、この活動を支援するために日本で募金活動を行いました。

## 飢餓救済に係る事業

### **【フードバンク事業】**

仙台市内において、路上生活者や困窮家庭の支援のためにフードバンク事業を前年度から継続し、NPO法人いのちのパンと地元のパートナーと連携して実施、日本のフードロス問題に取り組みながら、生活困窮者の支援に大きく貢献しています。また路上生活者のためのフードトラックによる活動も仙台を中心に展開し、貢献している。

### **【孤立生活者のためのクリスマス・ギビング・アクション】**

社会的・経済的理由などから困窮し、地域から孤立している人々に対して、見守りを兼ねた声掛けとクリスマスギフトをお届けする「クリスマス・ギビング・アクション」を企画、実施しました。

単なる物資支援のみに終わらない「人と人との温かいふれあい」を目的とした社会貢献プロジェクトです。クリスマスをお祝いできない状況にある子どもたちや一人暮らしの高齢者、そして「つながり」を必要としている人々へ「あなたのことを忘れていない」という想いを込め、お米などが入った1210個のギフト袋をお届けしました。

## 情報提供に係る事業（出版、ドキュメンタリー映画製作、上映、放映）

### **【ワールド&ライフスタイルニュース事業】**

You tubeなどを活用した、国内外の活動レポート、CBNニュースの動画などを日本語に吹き替え、字幕をつけ公開しています。登録者と視聴回数が徐々に増えています。

## 家庭生活のためのカウンセリング、セミナー開催事業

### **【心のケアセミナー】**

精神衛生を専門とするカナダ人の医師による各地におけるメンタルヘルスをテーマにした「こころの解放」セミナーを6月に行い、多くの関心を寄せ、成果を上げました。

### **【オンライン・カウンセリング】**

被災者、セミナー参加者など、希望者のための臨床心理士によるカウンセリングサービスを提供し、心のニーズに応えるために貢献しました。

### **【ソーシャル・アクション】**

今年度から実施されたソーシャルアクション・スタートアッププログラムは、宮城県を拠点に地域課題へ取り組む人材の育成と、小規模ながらも地域に根ざした社会貢献プロジェクトの立ち上げを目的として行われました。地域での支援活動に関心のある参加者が研修を受け、そのうち

数名が継続的に活動を進め、複数のプロジェクトが実際に展開されました。里親家庭の子どもを対象としたメンタープログラムや、経済的困難や孤立状態にある人々を対象とした食事イベント等が実施され、プログラムに対する前向きな評価や温かく安心できる交流の場が生まれたことが報告されています。また、実施にあたっては参加者間の協働を通じてチームの一体感や地域連携も深まりました。

### その他の事業

#### 【英会話クラス／タッチで英語】

タッチパネルを利用した英語学習プログラムを継続し、未就学児から小学生までの国際化に貢献するための英語レッスンを展開しました。

## 2 事業の実施に関する事項

### 1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	協力団体・従業員の数	受益者の範囲と人数	支出額(千円)
-----	------	-----	------	------------	-----------	---------

#### 災害支援事業

南相馬復興コミュニティサポート事業	ブレッシングループ、放課後児童クラブ、各種イベント、児童キャンプ、子育て支援、英会教室、ゴスペル教室、子ども食堂。	4月1日～3月31日	福島県南相馬市	南相馬市、南相馬社会福祉協議会、延べ1,294名	延べ6,230名	
令和3年7月熱海土砂災害	子ども心のケア、高齢者支援	4月1日～3月31日(月2回)	静岡県熱海市	町内会など。延べ155名	延べ554名	

令和6年元 旦能登半島 地震	物資提供、 心のケア、 炊き出し、 あと片付け	4月1日～ 3月31日	石川県 内灘町、能登 町、輪島市、 七尾市、穴水 市	NPOホープ、 能登ヘルプ、 社会福祉協議 会など 延べ 513名	延べ 6,270名	
ウクライナ 越冬支援	固形燃料の 提供	12月15日 ～3月14 日	ウクライナ東 部	Emmanuel Charity Assoc., ジャパン・プ ラットフォー ム 延べ 7名	延べ 662世 帯	
ミャンマー 地震	物資提供		ヤンゴンなど	CBNミャンマ ー		

#### 飢餓救援に係る事業

フードバン ク事業	困窮家庭の ための食糧 配布・路上 生活者支援	4月1日～ 3月31日	宮城県仙台 市、福島県 南相馬市、 静岡県、山 口県	いのちのパ ン、PCC、 YWAM、OM 延べ430名	延べ 4,497名	
クリスマス ギビングキ ャクシヨ ン	困窮者家庭 の食糧配 布・ギフト 配布	12月1日～ 25日	全国	各地ボランテ ィア 延べ64名	延べ 1,210名	

#### 家庭生活のためのカウンセリング、セミナー開催事業

精神衛生セ ミナー事業	こころの解 放	6月3日～ 18日	那覇、大 阪、名古 屋、蒲郡、 東京、金沢	延べ46名	延べ 852名	
ソーシャル アクション 困窮者生活 支援事業	経済的困難 や孤立状態 にある人々 を対象とし た食事イベ ント等	6月1日～ 3月31日	仙台市	延べ72名	延べ37名	

里親家庭の子どものためのメンター事業	里親家庭の子どもとの交流、キャンプ、一緒にクッキング	6月1日～3月31日	仙台市	延べ44名	延べ67名	
--------------------	----------------------------	------------	-----	-------	-------	--

情報提供に係る事業（出版、ドキュメンタリー映画製作、上映、放映）

ワールド＆ライフスタイルニュース事業	Youtubeなどによる情報配信	4月1日～3月31日	全国	延べ 5名	延べ 35,017 回	
--------------------	------------------	------------	----	-------	-------------	--

その他関連する事業（講演会・ワークショップ実施）

事業名	事業内容	実施日	実施場所	協力団体・従業員の数	受益者の範囲と人数	支出額（千円）
講演会	災害時における在日外国人への支援、心構え、臨床美術による心の回復	2024年 4月7日、 7月28日、 8月20日 (3回)	オンライン、仙台市、金沢市	延べ 6名	延べ99名	
ワークショップ	こころのケア、地域に密着した災害支援トレーニング (防災・BCP事業継続計画)	2024年 5月1日、 21日、 8月31日 11月6日 (4回)	名取市、金沢市、オンライン	延べ9名	延べ68名	
セミナー	こころのケア、リーダーシップ育成、災害支援ボランティア調整と	2024年 5月16日 6月19日、 22日、26日、 7月5日、 8月10日、	石川県内灘町、金沢市、羽咋市、七尾市、津幡町、宮城県仙台	延べ33名	延べ395名	

	トラウマケア	10月20日、 25日、 11月30日、 12月2日、 2025年1月 5日、23日 (15回)	市、名取 市、オンラ イン			
--	--------	--	---------------------	--	--	--

## 2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	事業費の金額 (千円)
タッチで英語	英会話	4月1日～3月 31日	福島県南相馬 市	スタッフ3名 週4日	

以上

# 独立監査人の監査報告書

2025年6月17日

特定非営利活動法人

オペレーション・ブレッシング・ジャパン

理事会 御中

武田公認会計士事務所

宮城県仙台市

公認会計士

武田 雅人

## 監査意見

私は、特定非営利活動法人オペレーション・ブレッシング・ジャパンからの委嘱に基づき、特定非営利活動法人オペレーション・ブレッシング・ジャパンの2024年4月1日から2025年3月31日までの事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、活動計算書、財務諸表の注記及び財産目録について監査を行った。

私は、上記の財務諸表が、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改訂 NPO法人会計基準協議会）に準拠して、特定非営利活動法人オペレーション・ブレッシング・ジャパンの2025年3月31日をもって終了する事業年度の活動の状況及び同日現在の財政状態をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。私は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、特定非営利活動法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## その他の記載内容

その他の記載事項は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

私は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

## 財務諸表に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改訂 NPO法人会計基準協議会）に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、理事者は、継続法人の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、継続法人に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

## 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リス

クに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。

- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続法人を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続法人の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続法人の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、特定非営利活動法人は継続法人として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記が、我が国において一般に公正妥当と認められるNPO法人会計基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表関係書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

特定非営利活動法人と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

令和6年度 貸借対照表

令和7年3月31日現在

特定非営利活動法人ホップレション・ブレンディング・ジャパン

(単位：円)

科目	金額	
<b>I 資産の部</b>		
1. 流動資産		
現金預金	19,910,944	
緊急災害支援特定資産	3,819,776	
未収金	2,201,022	
棚卸資産	2,119,289	
立替金	3,908	
前払費用	320,260	
前渡金	500,000	
流動資産合計		28,875,199
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
建物	1,749,854	
車両運搬具	7	
什器備品	825,230	
有形固定資産計	2,575,091	
(2) 投資その他の資産		
敷金	6,819,100	
投資その他の資産計	6,819,100	
固定資産合計		9,394,191
資産合計		38,269,390
<b>II 負債の部</b>		
1. 流動負債		
未払金	11,411,408	
預り金	160,853	
未払法人税等	144,000	
流動負債合計		11,716,261
負債合計		11,716,261
<b>III 正味財産の部</b>		
1. 一般正味財産		25,954,682
2. 指定正味財産		598,447
正味財産合計		26,553,129
負債及び正味財産合計		38,269,390

令和6年度 活動計算書  
 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで  
 特定非営利活動法人 オペレーション・ブレッシング・ジャパン  
 (単位: 円)

科目	非営利事業計	その他の事業	合計
(一般正味財産増減の部)			
I 経常収益			
1 受取会費			
賛助会員受取会費	521,500		521,500
2 受取寄附金			
受取寄付金	25,510,407		25,510,407
資産受贈益	9,551,806		9,551,806
受取寄付金振替額	53,235,841		53,235,841
3 受取助成金等			
受取助成金			
受取助成金振替額	20,421,828		20,421,828
4 事業収益			
その他収入	3,711,572	583,660	4,295,232
5 その他収益			
受取利息	10,229		10,229
経常収益計	112,963,183	583,660	113,546,843
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	21,819,811		21,819,811
法定福利費	2,975,780		2,975,780
健康診断費	7,838		7,838
人件費計	24,803,429	0	24,803,429
(2) その他経費			
仕入高 (物品)		397,062	397,062
仕入高 (ソフト利用料)	181,500		181,500
購入支援食料	1,489,521		1,489,521
購入支援物品	4,675,643		4,675,643
業務委託費	11,706,712		11,706,712
謝礼	1,421,936		1,421,936
研修費	38,800		38,800
運送費	332,459		332,459
空輸運賃	54,301		54,301
広告費	2,589,697		2,589,697
通信費	341,003	9,098	350,101
図書印刷費	706,844		706,844
消耗品費	609,058		609,058
会議費	91,713		91,713
保険料	741,440		741,440
旅費交通費	11,899,338		11,899,338
水道光熱費	1,555,841		1,555,841
賃借料	13,683,658		13,683,658
備品	259,893		259,893
租税公課	363,000		363,000
諸会費	278,500		278,500
車両費	1,654,048		1,654,048
ソフトウェア等 (経費)	75,799		75,799
手数料	220,202	3,518	223,720
支払報酬	352,011		352,011
寄附金	29,962,679		29,962,679
減価償却費	2,434,598		2,434,598
その他経費計	87,720,194	409,678	88,129,872
事業費計	112,523,623	409,678	112,933,301

2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	7,207,506		7,207,506
法定福利費	1,156,959		1,156,959
福利厚生費	116,586		116,586
人件費計	8,481,051	0	8,481,051
(2) その他経費			
業務委託費	3,473,000		3,473,000
研修費	114,320		114,320
運送費	112,398		112,398
広告費	1,064,574		1,064,574
通信費	1,485,851		1,485,851
図書印刷費	449,587		449,587
消耗品費	113,658		113,658
保全費	217,861		217,861
会議費	210,500		210,500
保険料	424,600		424,600
旅費交通費	1,372,209		1,372,209
電気代	572,655		572,655
賃借料	8,124,611		8,124,611
備品	65,015		65,015
租税公課	160,700		160,700
諸会費	286,580		286,580
車両費	727,789		727,789
ソフトウェア等(経費)	1,173,572		1,173,572
手数料	263,820		263,820
支払報酬	1,690,489		1,690,489
雑費	21,765		21,765
減価償却費	893,914		893,914
その他経費計	23,019,468	0	23,019,468
管理費計	31,500,519	0	31,500,519
経常費用計	144,024,142	409,678	144,433,820
当期経常増減額	△ 31,060,959	173,982	△ 30,886,977
税引前当期正味財産増減額	△ 31,060,959	173,982	△ 30,886,977
法人税・住民税及び事業税		144,000	144,000
経理区分振替額	29,982	△ 29,982	0
当期正味財産増減額	△ 31,030,977		△ 31,030,977
前期繰越正味財産額	56,985,659		56,985,659
次期繰越正味財産額	25,954,682		25,954,682
(指定正味財産増減の部)			
I 受助助成金等	20,421,828		20,421,828
II 受取寄付金	53,834,288		53,834,288
III 一般正味財産への振替額	△ 73,657,669		△ 73,657,669
当期指定正味財産増減額	598,447		598,447
前期繰越指定正味財産額	0		0
次期繰越指定正味財産額	598,447		598,447
次期繰越正味財産	26,553,129		26,553,129

## 計算書類の注記

### 1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は最終仕入原価法によっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

法人税法の規定に基づいて、有形固定資産は定額法・定率法および一括償却で、無形固定資産は定額法で償却をしています。

(3) 引当金の計上基準

該当なし

(4) 消費税等の会計処理

消費税等は税込経理により処理しています。

### 2. 事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです。

科目	災害救援事業	その他の事業	合計
(1) 人件費			
給料手当	21,819,811		21,819,811
法定福利費	2,975,780		2,975,780
健康診断費	7,838		7,838
人件費計	24,803,429	0	24,803,429
(2) その他経費			
仕入高（物品）		397,062	397,062
仕入高（ソフト利用料）	181,500		181,500
購入支援食料	1,489,521		1,489,521
購入支援物品	4,675,643		4,675,643
業務委託費	11,706,712		11,706,712
謝礼	1,421,936		1,421,936
研修費	38,800		38,800
運送費	332,459		332,459
空輸運賃	54,301		54,301
広告費	2,589,697		2,589,697
通信費	341,003	9,098	350,101
図書印刷費	706,844		706,844
消耗品費	609,058		609,058
会議費	91,713		91,713
保険料	741,440		741,440
旅費交通費	11,899,338		11,899,338
水道光熱費	1,555,841		1,555,841
賃借料	13,683,658		13,683,658
備品	259,893		259,893
租税公課	363,000		363,000
諸会費	278,500		278,500
車両費	1,654,048		1,654,048
ソフトウェア等（経費）	75,799		75,799
手数料	220,202	3,518	223,720
支払報酬	352,011		352,011
寄付金（現物支援食料品）	29,962,679		29,962,679
減価償却費	2,434,598		2,434,598
その他経費計	87,720,194	409,678	88,129,872
合計	112,523,623	409,678	112,933,301

3. 使途等が制約された寄付金等の内訳

使途等が制約された寄付金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。  
したがって使途が制約されていない正味財産は25,954,682円です。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
(災害支援事業助成金等)					
フードバンク支援活動 (いのちのパン)		90,000	90,000	0	交付を受けた助成金177,500円のうち45,672円が未使用の為返金しました。
能登ヘルプこひつじ基金助成事業 1期		131,828	131,828	0	
能登ヘルプこひつじ基金助成事業 2期		200,000	200,000	0	
ウクライナ支援事業 (JPF)		20,000,000	20,000,000	0	
災害支援事業助成金計	0	20,421,828	20,421,828	0	
(災害支援事業寄付金)					
使途等が制約された寄付金	0	53,834,288	53,235,841	598,447	
災害支援事業寄付金計	0	53,834,288	53,235,841	598,447	
合計	0	74,256,116	73,657,669	598,447	

4. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物	7,290,240			7,290,240	△ 5,540,386	1,749,854
車両運搬具	16,172,937		948,749	15,224,188	△ 15,224,181	7
什器備品	7,180,501	968,500	1,174,505	6,974,496	△ 6,149,266	825,230
投資その他の資産						
敷金	6,819,100			6,819,100	0	6,819,100
合計	37,462,778	968,500	2,123,254	36,308,024	△ 26,913,833	9,394,191

5. 役員及びその近親者との取引の内容

記載すべき事項はありません。

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
(受取助成金等振替額)	
フードバンク支援活動 (いのちのパン)	90,000
能登ヘルプ	131,828
能登ヘルプ	200,000
ウクライナ支援 (JPF)	20,000,000
受取助成金振替額合計	20,421,828
(受取寄付金振替額)	
災害援助寄付金の振替	53,235,841
受取寄付金振替額合計	53,235,841
合計	73,657,669

7. 特定資産の内容

貸借対照表の流動資産に計上されている緊急災害支援特定資産は、普通預金です。

令和5年度 財産目録

令和7年3月31日現在

特定非営利活動法人 オペレーション・ブレッシング・ジャパン  
(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
手許現金	152,797	
手許現金 (カフェ)	0	
三井住友銀行 普通預金 (新座志木支店)	3,875,668	
三井住友銀行 普通預金 (仙台支店)	519,734	
ゆうちょ銀行 (振替口座)	6,557,251	
ゆうちょ銀行 (カフェ)	0	
三井住友銀行 普通預金 (JPF福島)	8,805,494	
緊急災害支援特定資産		
三井住友銀行 普通預金 (新座志木支店)	3,819,776	
未収金	2,201,022	
棚卸資産	2,119,289	
立替金	3,908	
前払費用	320,260	
前渡金	500,000	
流動資産合計		28,875,199
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
建物	1,749,854	
車両運搬具	7	
什器備品	825,230	
有形固定資産計	2,575,091	
(2) 投資その他の資産		
敷金	6,819,100	
投資その他の資産計	6,819,100	
固定資産合計		9,394,191
資産合計		38,269,390
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	11,411,408	
預り金		
源泉所得税 預り金	12,251	
雇用保険 預り金	148,602	
未払法人税等	144,000	
流動負債合計		11,716,261
負債合計		11,716,261
正味財産		26,553,129